

## ■新学期スタート！



新型コロナウイルス感染防止のため、在校生は2月末から臨時休校となり、また新入生の入学式も校内で簡略化して行われるなどの異常事態の中で始まった令和2年度の1学期。新2・3年生は久しぶりに友だちと会えて、うれしさがこみ上げている状態かと思えますし、新入生のみなさんは期待と不安が入り混じった心境なのかもしれません。コロナウイルスの問題については、まだ先の見通しが立たないので、非常事態に対応しなければならぬことも十分にあり得ますが、一日も早く本校の生活に慣れ、楽しく充実した学校生活を送っていただきたいと思えます。

高校は中学校と比べて、学習面はもちろん、部活動や学校行事においても自主性が大きく求められます。何事も自分から積極的にチャレンジしていけば多くのことが得られます。まずは、積極性を大事にしましょう。

高校生活の面白さの一つは、知り合える人の幅広さです。中学校までに知り合える人と言え、せいぜい自分の住んでいる地域の人だけだったのではないかと思います。しかし、高校になると、地元だけでなく、遠く離れたところから通学してくる生徒が大勢います。そういった人たちとの出会いもぜひ大切にしていきましょう。

高校は義務教育ではなく、自分でしっかりとがんばって、進級や卒業のための基準をクリアしなくてはなりません。欠席が多くなると進級や卒業に大きく影響しますし、定期考査の点数や提出物等の提出状況も成績に大きく影響します。十分に気をつけましょう。

高校入試が終わったばかりですが、みなさんの中には、大学進学を目指して入学してきた人も多いことと思います。特に国公立大学を目指す場合は、得意教科だけでなく苦手教科にも力を入れて学習していく必要があります。早くから将来を意識して、少しずつ学習の積み重ねを図っていきましょう。

新入生のみなさんには、部活動に入部することを勧めます。少しでも早く本校の生活リズムに慣れて、「文武両道」を目指して充実した高校生活となることを期待します。

2年生は「中だるみ」の時期などよく言われますが、2年生でのがんばりが進路を決定させていくと言っても過言ではありません。学習や部活動などで充実した生活になるようにがんばりましょう。

3年生諸君は、いよいよ進路活動が本格化していきます。現時点で自分の方向性が決まっている人はそれに向けて着実に努力を重ねてください。進学か就職か、大学か専門学校か・・・などで悩んでいる諸君はじっくり考えて選択してほしいものです。安易に決めてしまうのはとても危険ですし、ここでの選択は人生を左右する一つの大きな岐路と言えます。先生や家族、友だちなどともしっかり相談して、後悔しなくて済む判断をしていくようにしてください。

## ■ 昨年度卒業生の合格体験記

昨年度の卒業生の「合格体験記」を紹介します。進路活動をしていくうえで、ぜひ参考にしてください。



箱崎みらんさん（特進コース） 福島県立医科大学看護学部

### 【合格体験記】

私は、福島県立医科大学の看護学部で公募推薦で合格しました。推薦試験では、国語と英語および小論文と面接を行いました。私は高校2年で部活動を引退し、高校3年のゴールデンウィークから集中して受験勉強に取り組みました。勉強について、英語は長文問題をたくさん解いたり、小論文や面接対策として、医療に関する知識を身につけ、専門用語を覚えたりしました。



試験本番は緊張や不安もあり、思うように問題を解き進めることができなかったことを後悔しています。特に国語では、図表読解に多くの時間を使ってしまい、他の問題にかける時間が少なくなってしまいました。また英語では、難しい単語が多く、内容を理解するまでにかなり時間がかかったため、最後まで解き終えることができませんでした。受験勉強は過去問を解いて問題に慣れ、傾向をつかむことと、単語を覚えることが重要だと思います。

面接は和やかで、会話のような雰囲気でした。難しい質問もあり、答えられなかったものもいくつかありましたが、どんな質問にも笑顔で答えることを心がけました。

私が合格できたのは、先生方がたくさん協力してくれたおかげです。先生方には感謝の気持ちでいっぱいです。大学でしっかり勉強し、多くの人を笑顔にできる看護師になれるように頑張りたいと思います。

鳥居塚将道君（体育コース） 日本大学工学部建築学科

### 【合格体験記】

私が大学入試を経験して思ったことは、まず1・2年生のうちに「進学したいのか、働きたいのか」をはっきりさせておいた方が良いということです。私が進学しようと考え始めたのは、2年生の2学期あたりからでした。それまでは自分の進路についてあまり考えることがなかったので、成績（評定）があまり良くありませんでした。そのため、それ以降、評定を上げるのが大変でした。もし進学か就職かが決まっていなくても、毎回の定期テストの勉強はしっかりと行い、良い成績を取っていれば、自分の希望進路が決まった時に苦労しなくて済みます。自分の希望を実現できるように頑張ってください。



## ■ 日本学生支援機構の手続きについて



3月3日（火）付で日本学生支援機構より、今年度（令和2年度）の「大学等予約採用」のスケジュールについて連絡がありました。昨年度は1回のみのお受けでしたが、今年度は2回のお受けになるようですのでご注意ください。校内申込み手続きにつきましては、今後、説明会を開いて3年生諸君にお伝えする予定であります。保護者の皆様には、『進路通信』等でご連絡差し上げますので、ご承知おきください。

今年度の申込期間について、1回目は5月中、2回目は6月中となります。それぞれ学校で入力作業をしていただくことになるかと存じます。なお、申込みの際には、給付型・貸与型を問わず、一定の書類の提出が求められます。

「所得証明書」や「児童手当（特に小・中学生の弟・妹がいる場合）」などは基本的に必須になるかと存じます。ただし、「所得証明書」などは6月以降でないと手元に入らない関係もあり、1回目の日本学生支援機構への申込書類の提出期限は6月19日（金）必着となっており、2回目については7月20日（月）必着となります。したがって、校内締切は若干の余裕を持って設定させていただきますので、あらかじめご承知おきください。提出期限にどうしても間に合わない場合は担当者にご連絡ください。

なお、新型コロナウイルスの問題も含め、さまざまな部分で不透明なことが多いですが、例年ですと5月、6月は行事が立て込む時期ですので、担当者が出張等で不在にすることも多くなるかと存じます。ご迷惑をお掛けすることがあるかもしれませんが、その点につきましても、あらかじめご了承ください。

	申込期間 (※ <u>学校で入力</u> )	申込書類の送付期限 (※ <u>校内申込み締切</u> はありません)	採用候補者 決定時期
1回目	5月中	6月19日（金）必着	10月下旬
2回目	6月中	7月20日（月）必着	11月下旬

## ■ 『進路通信』 ホームページに！



『進路通信』はこれまで紙媒体のみで配布しておりましたが、今年度よりホームページにもアップされることになりました。これまでも月に1回程度発行し、進路情報や生徒の声（合格体験記など）、奨学金の予約採用（※大学・短大・専門学校進学希望者対象）に関する情報などをお伝えしてきましたが、どうしてもプリントがお家の方に届かないケースなどもありましたので、ぜひ、定期的にホームページでご確認いただければ幸いです。基本的に各学期の始めと終わり、定期考査1週間～10日前を目安に作成しています。

## ■ 進路指導室が1階に移動しました！

これまで約10年間、3階に配置されていた進路指導室が教室配置の関係もあり、1階奥の保健室向かい側に移動になりました（写真）。近年は3階に3年生の教室が配置されることが多く、3年生の利用が多い傾向にありました（※これまでの体育コースの3年生の中には、昼休みに1階から3階まで上がってきて調べ物をしたり、進路相談したりするために進路指導室に足を運ぶ者が多くいました）が、この移動を機会に、体育館での授業終了後や飲み物などを買いに行くついでに利用する1・2年生も増えるのではないかと考えています。

実は3年前にも進路指導室の引っ越しを3階フロア内でしていますが、今回は3階から1階に下りるということで、多くの先生方、野球部および陸上競技部の諸君にもお手伝いいただき、重いキャビネットや本棚などを運んでいただきました。改めてお礼申し上げます。ありがとうございました。

進路指導室には大学、短大、専門学校の写真資料はもちろんのこと、受験関係の雑誌、過去の大学等の入試データ・入試問題、就職関係の求人票などを常時置いており、自由に閲覧できます。学年を問わず、気軽に足を運んでください。

新3年生の不安感をあおるつもりはありませんが、今年度は新型コロナウイルスが大きな社会問題となり、世界中を混乱させている中で、大学入試等もどのような形になるか早い段階から注目しておく必要があります。昨年度までであれば、大学については9月からAO入試（※今年度からの総合型選抜。単に名称が変わるだけではないので注意！）が始まりますが、現段階では例年通りの形（時期、試験の形態等）でできるのか不透明です。どのような形で実施されるにしても、しっかりと対応できるように早め早めの準備が望まれます。

進学にせよ就職にせよ、新3年生向けの資料は5月頃から少しずつ学校に届くものと思われれます。それまでは昨年度のものになりますが、参考資料として閲覧してください。例えば、指定校推薦入試での大学進学を希望する場合、基準となる評定平均値が前年度と変わる可能性があります。前年度よりも下がる場合はあまり問題ないかもしれませんが、前年度よりも上がるケースがあります。前年度の数字でギリギリの場合、「この数字を確保すれば大丈夫！」だと思いついてしまうのは危険です。柔軟に対応できるようにしておきましょう。

先日、昨年度まで本校の就職支援員を担当されていた方がご挨拶に来られましたが、新型コロナウイルスの影響で入社式が延期になる企業も多く見られ、また外国との取引ができない状況で次年度に向けての採用が不透明な企業も多そうだとのことでした。就職希望者は自分が希望する業種、職種に就けない可能性があることも覚悟のうえで就職活動を進めていかなければならないかもしれません。



文責：清水聖（進路指導主事）